

修士課程		科目			
	専門分野名				
1	医薬品化学	: 基礎有機化学(1年)	有機化学Ⅰ～Ⅲ(1～2年)	合成化学Ⅰ、Ⅱ(3年)	
2	薬品製造化学	: 基礎有機化学(1年)	有機化学Ⅰ～Ⅲ(1～2年)	合成化学Ⅰ、Ⅱ(3年)	スペクトルデータの解析
3	生命薬化学	: 基礎有機化学(1年)	有機化学Ⅰ～Ⅲ(1～2年)	合成化学Ⅰ、Ⅱ(3年)	スペクトルデータの解析
4	創薬物理化学	: 物理薬剤学1(3年)	物理薬剤学2(4年)		
5	生物分子設計学	: 生命物理化学Ⅰ(2年)	生命物理化学Ⅱ(2年)		
6	情報薬学	: 創薬情報科学(3年)	生命創薬科学Ⅰ、Ⅱ	分析科学Ⅰ、Ⅱ	構造生命科学
7	薬理学	: 薬理学Ⅰ(2年) 【神経伝達物質とその受容体および細胞内情報伝達系、イオンチャンネル、体性神経(知覚神経と運動神経)】	薬理学Ⅲ(3年) 中枢神経系全般		
8	分子薬理学	: 生理学Ⅰ(1年後期)	生理学Ⅱ(2年前期)		
9	生薬学	: 薬用植物学	生薬学Ⅰ	生薬学Ⅱ (生薬成分の局方試験法および構造決定のみ)	
10	生体分子解析学	: 分析科学Ⅰ(2年)	分析科学Ⅱ(2年)	分析科学Ⅲ(3年)	
11	薬剤学	: 生物薬剤学(3年後期)	薬物速度論(4年前期)		
12	衛生化学	: 衛生化学Ⅰ(3年前期)	衛生化学Ⅱ(3年後期)		
13	公衆衛生学	: 健康科学Ⅰ	健康科学Ⅱ		
14	微生物学	: 微生物学Ⅰ(2年前期)	微生物学Ⅱ(2年後期)	免疫学(3年前期)	
15	微生物薬品化学	: 化学療法学Ⅰ(2年後期)	化学療法学Ⅱ(3年前期)		
		→教科書範囲:化学療法学 病原微生物学・がんと戦う/第3章から第7章(南江堂)			
16	生化学	: 生化学Ⅰ(1年後期)	生化学Ⅱ(2年前期)	生化学Ⅲ(2年後期)	
17	臨床統計学	: 数学(1年)	発展数学A(1年)	発展数学B(1年)	代数学(1年)
		: 統計学(1年)	薬学統計学(2年)		
18	医薬開発学	: 生命創薬科学Ⅱ(2年)	創薬情報科学(3年)	薬事行政(4学年)	

博士課程は以下の科目からも選択可

19	臨床薬学	: 医療薬学Ⅱ(4年)	薬物治療学Ⅱ(4年)	薬物治療学Ⅲ(4年)	
20	保険薬局学	: 薬と仕事Ⅲ(3年)	医療薬学Ⅰ(4年)	OTC治療学(4年)	
21	臨床薬物動態学	: 臨床薬物動態学(4年)			
		薬物動態学と薬力学の臨床応用-TDMの正しい理解のために- 東京、メディカルサイエンス・インターナショナル、2009年	新訂 ウインターの臨床薬物動態学の基礎 東京、じほう、2013年		
22	中毒学	: 医薬品安全性学Ⅱ(4年)	救急治療・臨床中毒学(4年)	衛生化学2(3年)	
		→教科書範囲:実践医薬品安全性学(京都廣川書店)			
23	医療心理学	: 医療コミュニケーション(2年)	医療倫理学(3年)	医療心理学(4年)	
24	生体制御学	: 炎症論(4年)	サイトカインネットワーク(4年)		
25	病態解析学	: 医療系科目全て			